

重点改革項目Ⅱ 市民との真のパートナーシップの形成

大項目	民間活力の効果的な活用				No.	52	
中項目	公の施設の指定管理者制度導入などさらなる民間活力の活用・推進				担当課	行政経営課	
具体的な改革項目	民間参入機会の確保、選定時の公平性向上						
現状と課題 (これまでの取組)	<p>「公の施設に係る指定管理者制度に関する指針」で、指定管理者の選定方針は「選定に対する公正性及び透明性の確保」や「複数の申請者による競争が働き、より優秀な提案を採用できる」などのメリットから「原則として公募とする」としている。</p> <p>これまで、非公募としてきた施設などでも、当該施設を取り巻く社会情勢の変化や担い手の状況などを見定めながら、公募による選定や選定方法を見直すことにより、より多くの民間参入の機会を確保していく。</p>						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・選定に対するさらなる公正性及び透明性の確保が図られる。 ・複数の申請者による競争が働き、より優秀な提案採用でき、市民サービスの向上に繋がる。 ・地域経済の活性化の観点からも推進する必要がある。 					
	取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設（区ごとの一括の選定から、公募方法を変更） ・ひまわりクラブ（児童福祉法改正を踏まえ、公募化も含め管理のあり方を検討） ・老人デイサービスセンター（公募化の検討） 					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標／ 27年度以降
			計画	実績	計画	実績	
	スポーツ施設（前回は区ごとに一括で選定）	変更し公募、選定	<ul style="list-style-type: none"> ・原則施設単位ごとに公募し、指定（一部グループ化して指定） ・地元団体等が管理することが効果的な施設については、非公募で指定 	移行	<ul style="list-style-type: none"> ・見直した指定単位に移行。西蒲区は26年に選定し、翌年度から移行する。 		
	ひまわりクラブ（非公募）	検討	<ul style="list-style-type: none"> ・次回公募化に向けて、モデル実施として一部地域コミ協を非公募で指定（2施設） 	検討・結果公表	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施の管理状況の確認 ・モデル実施の状況等を踏まえた、次回選定方針の検討 	結果に基き実施	
	老人デイサービスセンター（非公募）	検討	<ul style="list-style-type: none"> ・検討を行い、次年度以降の選定方針を決定（公募により選定） 	検討・結果公表 結果に基き準備	<ul style="list-style-type: none"> ・公募により選定 	結果に基き実施	
指標							

		平成25年度		平成26年度		
(各年度10月、年度終了後に実施)						
進捗管理	取組の状況	上半期 (4～9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設(指定単位を見直して公募) ・ひまわりクラブ(H27に公募による再選定に向けて諸課題の整理) ・老人デイサービスセンター(管理運営の方針について検討中) 	予定通り 進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設(見直した指定単位で管理運営) ・ひまわりクラブ(モデル実施の管理状況の確認) ・老人デイサービスセンター(選定方法を公募として指定管理者を募集) 	予定通り 進捗
		下半期 (10～3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設(指定単位を見直して選定) ・ひまわりクラブ(モデル実施として2施設を地域コミ協に非公募で指定) ・老人デイサービスセンター(次回選定の方針を決定：公募により選定) 	予定通り 進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設(見直した指定単位での管理運営) ・ひまわりクラブ(モデル実施の管理状況等を踏まえた、次回選定方針の検討) ・老人デイサービスセンター(選定方法を公募として指定管理者を指定) 	予定通り 進捗

(年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	<p>スポーツ施設については、区一括指定から、原則施設単位の公募で選定を行い指定した。一部地元団体等が管理することが効果的な施設については、非公募で指定することとした。</p> <p>ひまわりクラブについては、児童福祉法の改正（H27.4月）を見据え、指定期間を2年間とし、地域の子どもを地域で見守るモデルとして、木戸・山の下の2クラブを各地域コミュニティ協議会に非公募で指定した。</p> <p>老人デイサービスセンターは、今後の管理運営方針について検討し、次回選定から公募による選定を行うこととした。</p> <p>各施設で選定方法を見直し、より多くの民間参入の機会を確保できる体制を構築した。</p>	B	<p>スポーツ施設については、見直した指定単位での管理運営を行っている。</p> <p>ひまわりクラブについては、モデル実施の管理状況を確認するとともに、次年度の選定方法について検討した。（公募での選定を予定）</p> <p>老人デイサービスセンターは、選定方法を公募にして管理者を選定した。</p> <p>取組工程については、概ね計画どおり選定方法の見直しが図られたため、今後は、これらの施設について、管理状況のモニタリングを徹底していく。</p>	B
	課題、今後の方針、改善事項など	・選定方法見直し後の管理状況のモニタリング（さらなるサービス向上の取組）		・選定方法見直し後の管理状況のモニタリング（さらなるサービス向上の取組）	

(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)		総合評価		平成27年度以降
計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価	<p>取組工程に位置づけた施設のうち、スポーツ施設については、区一括選定から原則施設単位の募集（一部地元団体等が管理することが効果的な施設については非公募で選定）に変更し、老人デイサービスセンターは非公募選定から公募による選定に変更したことにより、民間参入の機会確保に繋がった。また、ひまわりクラブも公募による選定を検討した。</p> <p>今後見直し後の管理状況についてもモニタリングを実施していくが、改革効果として考えられた、「選定に対するさらなる公正性及び透明性の確保」、「競争による、より優秀な提案採用での市民サービスの向上」、「地域経済の活性化」に繋がっていくものと考ええる。</p>	B	<p>取組工程に位置づけた各施設については、選定方法の見直しが図られたため、終了とする。管理状況については、今後モニタリングを徹底する。</p>
	課題、今後の方針、改善事項など	・選定方法見直し後の管理状況のモニタリング（さらなるサービス向上の取組）		